

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 住友金属鉱山(株)播磨事業所

1 環境保全活動に関する方針等

1 - 1 環境保全活動に関する方針

- ・当事業所では、ISO14001：2004，を取得し、環境保全活動に関する方針等については、環境マニュアルの中で「環境方針」において宣言している。
- ・CSR報告書を発行。

(目標・計画等の公表の方法についても記載すること)

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

- * 公害防止管理組織、並びに ISO14001 に準拠した事業所環境委員会をもって、環境保全活動に関する組織体制としている。
- * 連絡体制については、環境情報処理管理規定において内部・外部、緊急 / 異常事態発生時報告ルートを示している。

2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組み結果	今後の取組み計画
廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> 電子化推進によるコピー用紙の削減推進（前年度比、約3割削減） 継続した資源ごみの分別収集を行い、古紙、ペットボトルの再利用を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続したコピー用紙の削減と資源ごみの分別収集。
環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> 2011年1月外部による維持審査を受け、合格。監査時の指摘は特になし。 2回/年の内部監査を実施、システム運用確認と改善実施。 トップによるマネジメントレビューを実施、環境方針を見直し、シリアルかつ明確にした。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度の環境実行計画の推進。 審査機関による監査時の指摘ゼロ件
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年6月1日、トップによる全所員への環境教育を実施した（100%受講） 職場毎に分担し、海岸掃除を毎月継続している。 	<ul style="list-style-type: none"> 全所員への環境教育の実施 内部監査委員の意識レベル向上。 海岸掃除の継続
環境コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度版CSR報告書発行 環境保全管理者協会主催の行政との懇談会などに参加 	<ul style="list-style-type: none"> 環境情報の公開（CSR報告書1回/年の発行） 加古川環境保全協会での環境活動報告実施（H23.7.12）
化学物質管理	<ul style="list-style-type: none"> 毒物・劇物について、保管場所、表示、管理維持状況の確認パトロールを実施した。 平成22年9月、高濃度PCB機器を専門業者で搬出、JESCOで処分を完了した。 PRTR法に伴う報告を経済産業省と兵庫県に行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 毒物・劇物の適正管理と継続したパトロールの実施。 低濃度PCB機器の適正な保管管理の継続。 PRTR報告に係る環境測定頻度増加と削減取組みの強化。
特定物質排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度、亜鉛の簡易自動分析計を導入、24時間監視が可能となった。 大型送風機のインバータ化2件実施とコンプレッサーの高効率化1件の省電力化実施。 平成22年9月に焼却炉を廃止し、ダイオキシン類の排出を防止した。 	<ul style="list-style-type: none"> 排水中亚鉛の規制強化に対応した設備の改善。 継続したインバータ化等設備改善。 省エネ活動の推進によるCO2排出量低減
設備保全	<ul style="list-style-type: none"> 排水設備老朽化対策 硫酸製造工程安全環境対策 各Bagフィルター補修、煙道補修 など実施 	<ul style="list-style-type: none"> 継続した環境関連設備の補修、更新、改善の実施